

第2回宍粟市地域福祉のつどい宣言

宍粟市社協合併からおおむね4年が経過しました。さまざまな事業が調整され、宍粟市の方向性も明確になる中で、市民の生活はどうなってきたのでしょうか。

(中略) このフォーラムを通じ、これからますます進む少子高齢化の中で私たちは、お互いを尊重し、ささえあいながら「安全で安心な地域づくりと福祉の行き届いたまち」を創造していくことを確認しました。その成果を「第2回宍粟市地域福祉のつどい宣言」として次の点にまとめ取り組むことを誓い、多くの市民のみなさんによびかけます。

1. 小地域での見守りを防災につなげ、安全で安心な地域づくりを進めよう。
2. 地域のつながりを生かし、一人ひとりが大切にされる福祉のまちづくりを進めよう。
3. 善意銀行への預託、募金活動、そして、賛助会費などで地域福祉を進める社協を応援しよう。

平成21年2月11日

第2回宍粟市地域福祉のつどい

―スを活用し参加者の意見を伺うことなども取り入れ、参加者参加型のフォーラムとして進行していただきました。「つどい」の最後には、まとめとして、「地域福祉のつどい宣言(案)」を提案し、これを「朗読ボランティアふきのとう山崎」の寺内さんに

朗読いただき、多数の拍手で採択されました。参加者の皆さん。発表者のみなさん。ご苦勞様でした。そして、裏方で手話通訳や要約筆記でがんばっていただいたボランティアのみなさんに感謝します。本当にありがとうございました。



上：地域で活動されている発表者のみなさん
右：フォーラムは関西国際大学の成田先生の進行で会場全体が参加したものになりました



上：発表者や進行役からの問いかけに答える会場参加者のみなさん

参加者のアンケートから

◆第1回も参加しましたが、今回はすごくよかったと思います。報告者の方の発表はどの方もわかりやすく、感動しました。少しでも地域福祉にたずさわってみたいと思います。◆涙ながらに聴かせていただいた柴原さん、中野さん。ほのぼのとしただるまの会さん。私もやれるぞと思わせるささゆりの会のお2人さん。皆それぞれ大変よかったと思います。◆男性介護者の中野さんを応援したいと思います。◆地域福祉！まさに地域住民が、自ら考え、組織し行動するものが真の支えだと感銘し、これからの自分の力をもう一度見直していこうと思いました。(中略) 貴重な3時間でありました。ありがとうございました。◆みなさんががんばっておられる様子がわかり、私も何か出来るよう努力したい。そのためには健康でなければいけないと思いました。